

V. 教員免許状の取得のしかた

1 主専攻の卒業要件と教員免許状の取得について

1. 主専攻の卒業要件と教員免許状との関係

主専攻においては、その卒業要件を満たすことで、各コースにおける第1免許又は第2免許の教員免許状が取得できるようにカリキュラムを組んでいます。従って、主専攻における教員免許状の取得のしかたについて、本章のページにより特に調べる必要はありません。

2. 中学校の教員免許状と高等学校の教員免許状との関係

各教科のうち、「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」、「家庭」及び「英語」については、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得方法が共通していますので、これらの教科については、学生が卒業要件を満たすことによって、中学校教諭一種免許状と高等学校一種免許状を同時に取得することができます。

一方、「国語」及び「美術」は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得方法が少し異なります。また、「地理歴史」、「公民」及び「工業」にあつては、高等学校に係る免許状であり、その取得方法は中学校の取得方法とは大きく異なっています。

これら教科の高等学校教諭免許状を卒業と同時に取得しようと考えている学生は、本章「教員免許状の取得のしかた」を熟読し、卒業要件と併せてこれらの免許状が取得できるようにしっかりと履修計画を立ててください。

2 副専攻における教員免許状の取得について

1. 副専攻とは

所属するコース又は分野において主専攻として取得する教員免許状以外に、他の学校種又は他の教科の教員免許状を取得しようとするために履修するものを「副専攻」といいます。本章「教員免許状の取得のしかた」に従って各教員免許状の取得に必要な単位を修得し、卒業することにより、当該教員免許状が取得できます。

2. 副専攻の選抜・登録

副専攻の履修には登録が必要です。副専攻の受入れについては各教室で人数に制限があるため、毎年4月初旬に副専攻試験による選抜や登録などの手続きを行います。教育学部Moodleにて情報を収集し、関係教室等の指示に従って所定の手続きを行ってください。

3. 教員免許状取得のための開講科目と卒業要件との関係

本章において、教員免許状取得のために開講している科目の単位は、所属するコースの卒業要件において自由選択科目の単位に充てることができます。

次頁より、それぞれの学校種や教科の教員免許状取得に必要な単位数や授業科目の履修方法について説明します。教員免許法及び同法施行規則で定められた取り扱うべき内容と本学部が設定する授業科目の単位数との関係で、同法令が定める最低修得単位数より多く単位修得を要する教科等がありますが、これについては本章で示す履修指導に従ってください。

6 幼稚園教諭の教員免許状の取得のしかた

1. 幼稚園教諭の教員免許状の取得のしかた

幼稚園教諭の教員免許状の取得に必要な単位は、次のとおりです。

免許法施行規則に定める科目区分		必要単位数		備考
		幼稚園1種	幼稚園2種	
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	16	12	
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	9	
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4	4	
第5欄	教育実践に関する科目	7	7	
第6欄	大学が独自に設定する科目	14	2	
合計		51	34	

（注）欄区分の第2欄から第6欄は、教育職員免許法施行規則第2条に規定する区分を示します。

2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目の履修のしかた

領域及び保育内容の指導法に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数			左記に対応する開設授業科目及び必要単位数						備考		
			授業科目		単位数	履修年次	幼稚園1種			幼稚園2種	
							必修	選択必修		必修	選択必修
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	1種	2種	子どもと健康	1	2	1	1	領域に関する専門的事項と保育内容の指導法の選択必修は、1種免許は合わせて14単位以上、2種免許は合わせて10単位以上取得すること。		
	（保育内容の情報機器の活用を含む）教材	16	12	子どもと人間関係	1	3	1	1			
			子どもと環境	1	2	1	1				
			子どもと児童文化財	1	2	1	1				
			子どもと表現Ⅰ（音楽表現）	1	1	1	1				
			子どもと表現Ⅱ（身体表現）	1	3	1	1				
			子どもと表現Ⅲ（造形表現）	1	2	1	1				
			保育・幼児教育総合指導法	2	1	2	2				
			保育内容総論Ⅰ（指導計画）	1	3	1	1				
			保育内容総論Ⅱ（教材研究）	1	3	1	1				
			保育内容「健康」の指導法	2	1	2	2				
			保育内容「人間関係」の指導法	2	2	2	2				
			保育内容「環境」の指導法	2	1	2	2				
			保育内容「言葉」の指導法	2	2	2	2				
			保育内容「表現」の指導法	2	2	2	2				
						2	14	2	10		
						16		12			

（注） 保育・幼児教育総合指導法を除き、保育内容の指導法のうち一種免許、二種免許ともに2単位までは、小学校教諭免許状のための各教科の指導法の単位を充てることができます。

3. 教育の基礎的理解に関する科目の履修のしかた

教育の基礎的理解に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目及び必要単位数									
			授 業 科 目	単位数	履修年次	幼稚園1種		幼稚園2種		備 考
	1種	2種				必修	選択必修	必修	選択必修	
教育の基礎的理解に関する科目	10	6	教育基礎論	1	1	1		1		幼基A
			教職概論	1	1	1		1		幼基B
			教育制度と経営論	1	1	1		1		幼基C
			発達と学習の心理学	2	1	2		2		幼基D
			特別支援教育の理論と方法	2	1	2		2		幼基E
			教育課程及び保育の全体的な計画と評価	2	2	2		2		幼基F
			幼児教育の理念と実践	1	3	1				幼基A
合計					10		9			
					10		9			

※備考の記号は、その科目が免許法施行規則第2条に定める事項を含んでいることを示します。

幼基A：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

幼基B：教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

幼基C：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）

幼基D：幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

幼基E：特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解

幼基F：教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

4. 道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目の履修のしかた

道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目及び必要単位数										
			授 業 科 目	単位数	履修年次	幼稚園1種		幼稚園2種		自由 選択	備 考
	1種	2種				必修	選択必修	必修	選択必修		
相及び道徳、総合的な学習の時間等に関する指導、指導法	4	4	教育方法・技術	1	2	1		1			幼道A
			保育・教育臨床相談	2	2	2		2			幼道C
			子ども理解の理論と方法	1	3	1		1			幼道B
合計					4		4				
					4		4				

※備考の記号は、その科目が免許法施行規則第2条に定める事項を含んでいることを示します。

幼道A：教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

幼道B：幼児理解の理論及び方法

幼道C：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

5. 教育実践に関する科目の履修のしかた

教育実践に関する科目については、次のとおり履修してください。

授 業 科 目	単位数	履修年次	幼稚園1種・2種		備 考
			必修	選択必修	
教育実習（幼稚園）	4	3	4		
教育実習事前・事後指導（幼稚園）	1	2～4	1		
教職実践演習	2	4	2		
合計			7		
			7		

（注1）小学校教諭免許状のために修得した教育実習及び事前・事後指導（小学校）5単位をもって、幼稚園の教育実習及び事前・事後指導の5単位に代えることができます。

（注2）中学校教諭免許状のために修得した教育実習及び事前・事後指導（中学校）5単位をもって、幼稚園教諭免許状取得に際しては、教育実習及び事前・事後指導の3単位（事前・事後指導の1単位を含む）まで充てることができます。この場合、教育実習（小学校）2単位を修得し充足することにより、教育実習及び事前・事後指導（幼稚園）5単位を修得したこととなります。残りの教育実習（中学校）2単位は、幼稚園教諭免許状の取得のためには一切充てられません。

6. 大学が独自に設定する科目の履修のしかた

大学が独自に設定する科目については、次の表のとおり履修してください。なお、表のうち、選択必修の科目については、乳幼児教育コースの「学校及び教育の諸課題に関する科目」（78頁）の表のうち、備考に幼稚園教諭免許状に対応している科目から選択するか、前掲「2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目」、「3. 教育の基礎的理解に関する科目」の各区分における**必要単位数を超えて修得した余剰単位を充てることができます。**

	授業科目	単位数	履修年次	幼稚園1種		幼稚園2種		備 考
				必修	選択必修	必修	選択必修	
幼児教育に関する科目	保育・幼児教育学概説	2	1	2	1	2		
	保育・幼児教育研究法	1	3					
	発達心理学	2	1	2	8			
	臨床発達心理学	2	2	2				
	発達心理学演習	1	3	1				
	発達心理学実験	2	3					
	発達心理学データ解析	2	3					
	保育・子育て支援実践演習	1	3	1				
	幼児教育学専門演習	1	4					
	幼児心理学専門演習	1	4					
	保育内容学専門演習	1	4					
	保育実践学専門演習	1	4					
	幼児音楽論専門演習	1	4					
	保育・教育者論	2	1	2				
	乳児保育	2	2	2				
	インクルーシブ保育	2	3	2				
合計				6	8	2		
				14		2		